

第3学年 英語科学習指導案

日 時 令和4年11月15日(火) 5時間目
学 級 九戸村立九戸中学校 3年B組
指導者 秋山 貴美子

1 単元名 Unit 5 Plastic Waste (Here We Go! ENGLISH COURSE 3)

2 内容のまとめ

「話すこと [発表]」ウ

3 生徒について

- (1) 前単元で関係代名詞の主格 **which, who, that** を学習している。よって、本単元で扱う関係代名詞の目的格が含まれた文の構造は理解しやすいと考える。
- (2) 前年度に **to-**不定詞などの後置修飾を学習している。本単元でも後置修飾(主語+動詞)を用いた文を学習するが、生徒にとって、先行する名詞を後ろから修飾するという意識がないと組み立てが難しい文構造なので、指導に留意したい。
- (3) 一昨年度の岩手県中学1年生英語確認調査(CAN-DOテスト)では、本校全体の正答率は65.6%で県比は105という結果であった。昨年度の岩手県学習定着度状況調査(英検IBA)の分野別正答率は、読解が57.0%(県54.7%)、リスニングが62.5%(県61.7%)であった。

4 単元の目標

環境問題に関して聞いたり読んだりしたことについて考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。

5 教材について

- (1) 本教材では、言語材料として関係代名詞の目的格 **which** や **that**, 後置修飾(主語+動詞)を用いた文を扱う。これらの言語材料を学ぶことにより、生徒が表現の幅を広げ、人や物について詳しく説明を加えながら紹介できるようになるという特徴がある。
- (2) 本教材で扱う題材は環境問題である。登場人物たちが学校で環境問題についてプレゼンテーションするというストーリーになっており、環境を守るために自分なら何ができるかを考えることに発展させるのに適している。

6 本単元で主に働かせる「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」

級友へ向けて、環境を守るために自分たちができることについて伝える場面で、他者の意見と比較したりしながら、情報や自分の考えなどを整理、形成したり、再構築すること。

7 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> 関係代名詞(目的格)を用いた文の構造を理解している。 <技能> 関係代名詞(目的格)を用いた文の構造の理解を基に、環境問題について簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	環境を守るために、自分たちができることについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話している。	環境を守るために、自分たちができることについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。

8 教科研究との関わり

(1) 学習課題や中心発問の精選

単元末に「地球環境を守るために自分たちができることは何かについて、考えをまとめ話すことができる」という学習課題を設定する。1年生からこれまでの既習事項を全て働かせて、自分の考えや意見を伝えたり、相手に質問したりして、自分の考えを再構築することができる状況を生み出すことをねらいとする。指導の際は、教師と生徒（全員）、生徒同士、教師と生徒（一人）の対話の過程を繰り返すことにより、使用するとよい言語材料に気付かせたり、言語材料の習熟の程度を確認したりする。示しすぎ、教えすぎを控え、言語活動を通して指導することに留意する。

(2) 単元のまとめを見通した単元構成の工夫

① 単元の前半

単元学習前に、単元のゴールとなる表現活動を提示し見通しをもたせる。また、それと類似したテーマについての英文を振り返りシートに記述させておく。

単元の前半は、“an article (that) I found”のように、関係代名詞 (that / which) や後置修飾 (主語+動詞) を用いて「～が…する (もの・人)」と説明を加えるときの表現を習得させることを目指す。その際、言語の使用場面や目的を明確にし、指導・練習をしてから言語活動を行うのではなく、言語活動を通して指導することに留意する。同時に、考えを深める対話的な学びの実現に向け、その場でやり取りできる技能も習得させたい。

② 単元の後半

前半で習得した、関係代名詞 (目的格) や後置修飾 (主語+動詞) を用いた文を既習の知識として、「地球環境を守るために自分たちができることは何かについて、考えをまとめ話すことができる」という学習課題に取り組みさせる。しかし、この課題解決に向けては、本単元で習得した表現に限らず、1年生からの既習事項全てを働かせる必要がある。既にもっている個別の知識を、環境問題について考えをまとめ話すという新たな場面とつなげることで、汎用的に活用・発揮できる、考えた知識へと高めることができる。ペアやグループでの交流を通し、既習事項から目的に応じた適切な表現を取捨選択しながら、生徒自身の表現がよりよいものになることを目指す。

単元学習後には、学習前に取り組みさせた表現活動を再度行い、振り返りシートに記述させる。学習前後での自己表現を比較し、自身の学びや変容を自覚できるようにする。

9 単元の指導計画

時間	ねらい (■), 主な言語活動など (丸数字)	評価の観点			備考
		知	思	態	
1	■単元の目標を理解する。 ①本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 ■関係代名詞 which (目的格) を用いた文の構造を理解する。 ①教科書本文から、Kota がどんな資料を提示したかについて述べられている表現を探す。 ②関係代名詞 which (目的格) を用いた文の構造を知る。 ③教科書本文の内容を理解し、音読練習をする。				第1時から第7時の学習の振り返りは適宜行わせる。
2	■日本の文化について紹介し合う。 ①関係代名詞 which (目的格) を用いて、日本の文化についてペアでやり取りする。 ②やり取りした内容を踏まえ、日本の文化を紹介する文を書く。				

3	<p>■関係代名詞 that (目的格) を用いた文の構造を理解する。</p> <p>①教科書本文から、バリ島の姉妹の活動は、どのようにバリ全土へ広まったかについて述べられている表現を探す。</p> <p>②関係代名詞 that (目的格) を用いた文の構造を知る。</p> <p>③教科書本文の内容を理解し、音読練習をする。</p>				
4	<p>■自分の持ち物を説明し合う。</p> <p>①関係代名詞 that (目的格) を用いて、自分の持ち物をペアで説明し合う。</p> <p>②やり取りした内容を踏まえ、自分の持ち物について、その説明を書く。</p>				
5	<p>■後置修飾 (主語+動詞) を用いた文の構造を理解する。</p> <p>①教科書の対話文から、Tina は級友に何を見せたかについて述べられている表現を探す。</p> <p>②後置修飾 (主語+動詞) を用いた文の構造を知る。</p> <p>③教科書の対話文の内容を理解し、音読練習をする。</p>				
6	<p>■環境を守る取組について伝え合う。</p> <p>①後置修飾 (主語+動詞) を用いて、自分ができる環境にやさしい活動についてペアで共有する。</p> <p>②やり取りした内容を踏まえ、自分や友達がしている環境を守る活動について書く。</p>				
7	<p>■プレゼンテーションを読んで、感想を伝え合う。</p> <p>①バリ島の姉妹によるプレゼンテーションの要約から、話の流れを読み取る。</p> <p>②印象に残った文や、その理由、感想などについて、ペアで伝え合う。</p> <p>③環境を守るために、自分たちができることについてマッピングを作成する。</p>				
8 本時	<p>■地球環境を守るために自分たちができることについて、考えを伝え合う。</p> <p>①マッピングを基に、自分の考えをペアやグループで発表する。</p> <p>②再構築した自分の考えを書く。</p>		○	○	活動の観察及びワークシートへの記述内容により評価する。
9	<p>■地球環境を守るために自分たちができることについて学級でまとめ、宣言書を作成する。</p> <p>①出された意見から、学級の宣誓書を作成する。</p> <p>②目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。</p>				学習の振り返りは適宜行わせる。
後日	パフォーマンステストやペーパーテスト	○	○	○	

10 本時の指導

(1) 目標 (8時間目/全9時間)

- ・学習した表現を用いて、環境を守るためにできることについて考えをまとめ話すことができる。 [思考・判断・表現]
- ・学習した表現を用いて、環境を守るためにできることについて考えをまとめ話そうとしている。 [主体的に学習に取り組む態度]

(2) 本時で働かせる見方・考え方

学級全体へ向けて、地球環境を守るために自分たちができることについてプレゼンテーションを行う場面で、他者の意見と比較したりしながら、情報や自分の考えなどを整理、形成したり、再構築すること。

(3) 展開

段階	学習活動と学習内容	指導上の留意点 (◇評価、 研究1 、 研究2)
導入 5分	<p>1 Warm-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師と生徒や生徒同士のやり取りを行う。 <p>2 学習課題の把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やり取りを通し、既習事項を繰り返し使用させる。 <p>研究1 学習課題の精選</p>
展開 40分	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地球環境を守るために自分たちができることについて、考えをまとめ話すことができる。</p> <p>3 マッピングを基に、自分の考えをペアで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境を守るためにできることを伝える。 ・聞き手は、話し手に質問をしたり、意見を伝えたりする。 ・話し手は、やり取りを通して、質問やコメントをマッピングにキーワードで付け足していく。 ・やり取りの一部を全体で交流し、内容面や言語面での疑問を共有する。 <p>4 再考したマッピングを基に、自分の考えを別のペアで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流しながら、自分の考えや表現を改善していく。 ・やり取りの一部を全体で交流し、内容面や言語面での疑問を共有する。 <p>5 グループで発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流しながら、自分の考えや表現を改善していく。 ・発表の一部を全体で交流し、内容面や言語面での疑問を共有する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>予想される発表例</p> <p style="text-align: center;">This is a picture (that) I found on a website. There are so many plastic bags in the sea these days, so we should reduce them. To protect the sea, we can refuse plastic bags when we do the shopping at a store.</p> </div> <p>6 地球環境を守るためにできることについて、考えたことやその理由などを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わからない語句は辞書で調べたり、質問したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の支援なしで行わせる。 ・内容面では、目的や場面に応じた発話になっているか考えさせる。言語面では、単語だけの発話を文にさせたり、語順の誤りを修正させたりする。 ・内容面、言語面から指導をする。 ・教師の考えも伝える。 <p>研究2 知識・技能の活用・発揮</p> <p>◇主体的に学習に取り組む態度 学習した表現を用いて、環境を守るためにできることについて考えをまとめ話そうとしている。〈活動の観察〉</p> <p>◇思考・判断・表現 学習した表現を用いて、環境を守るためにできることについて考えをまとめ話している。〈ワークシート〉〈活動の観察〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアが浮かばない生徒、語句が調べられない生徒には教師が支援する。 ・場合によっては、宿題とする。
終末 5分	<p>7 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できたこと、できなかったこと等を記述する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境を守るために自分たちができることについて、4文程度で発表することができた。 ・他の人の発表を聞き、話す内容を考え直したり、強化したりして話すことができた。 ・簡単な理由や例を示しながら話すことができた。 ・つなぎ言葉や話す順番に気を付けることができた。 ・相手を意識した、分かりやすい英語で話せなかった。 ・○○はどう表現すればいいのかを知りたい。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・次時の学習の見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元学習前と同じ自己表現の課題に取り組みせることを確認する。